

2023年度 九州情報大学 学生実態調査

2023年度学生意識調査について

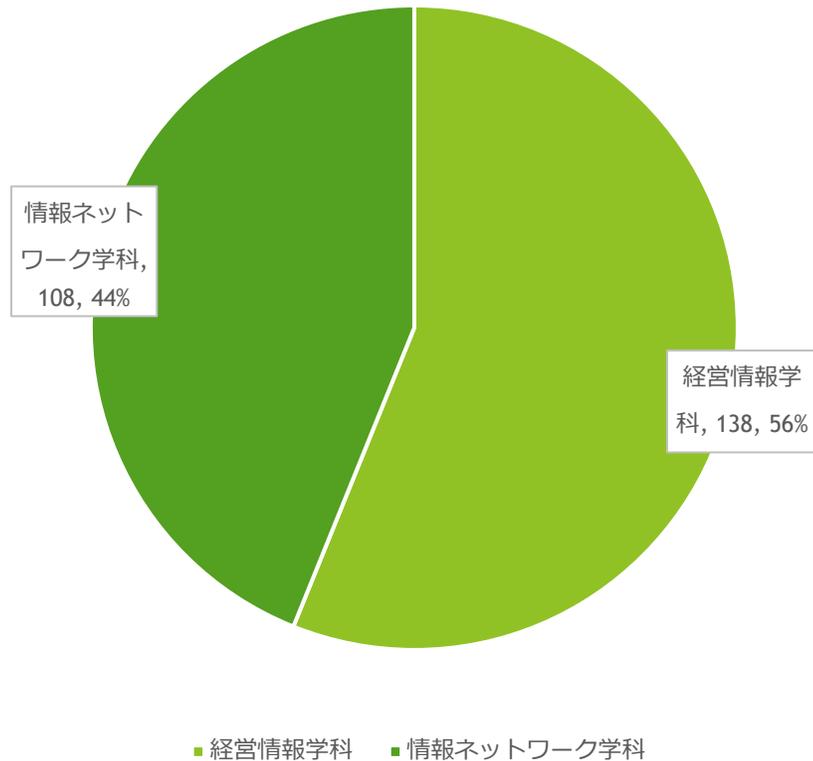
- ▶ 調査対象者：全学年の学部学生
- ▶ 調査日程：2024年1月17日（水）～30日（火）であり、296件の回答があった。
- ▶ 調査内容
 1. 基本属性
 2. 大学生の生活
 3. 大学生の学び
 4. 大学生の意識と行動等
- ▶ 九州情報大学FD委員会では、調査結果を公表することを原則としており、毎年「学生生活実態調査報告書」として学生へのフィードバックを行うと共に、教職員で情報を共有し、授業等教育活動の見直しに活用している。

2023年度学生意識調査について

大項目	設問数
1.あなたの属性	3
2.大学生活への期待	2
3.実際に力を入れたこと	6
4.魅力を感じる授業方法	1
5.大学の施設設備について	4
6.不安への対処法	2
7.大学への期待に対する成果	10
8.将来について	2
9.本学の「建学の精神」「3つのポリシー」についての理解	8
10.大学教育の総合評価	3

- ▶ 今年度の学生意識調査は昨年度より設問を変更せずを実施した。
- ▶ 学修指導が教育指導でもあり学生支援でもあると考えられるため、設問には、教育面と学生生活面と両方の内容を問う項目が含まれている。

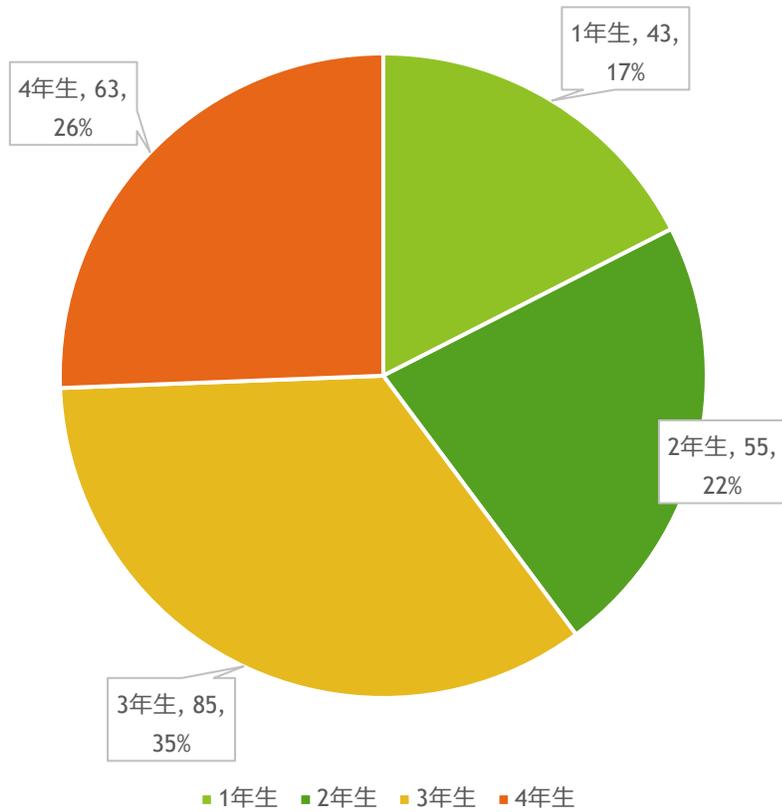
あなたの学科はどちらですか？



1-1 あなたの学科はどちらですか？

- ▶ 回答者の学科属性は、経営情報学科が56%と5割以上を占め、情報ネットワーク学科がやや少なく44%である。

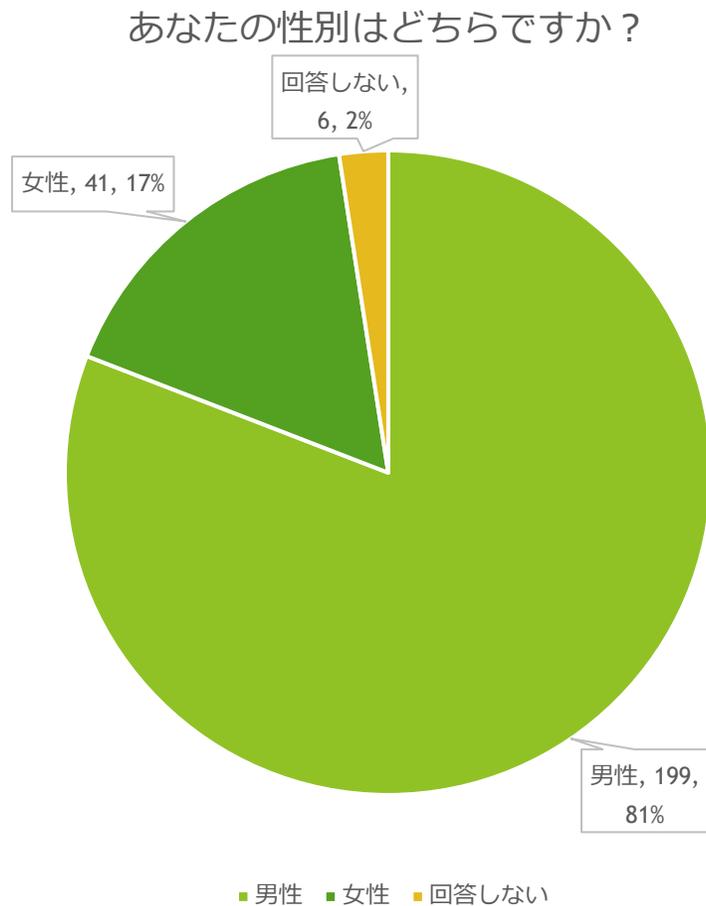
あなたは何年生ですか？



1-2 あなたは何年生ですか？

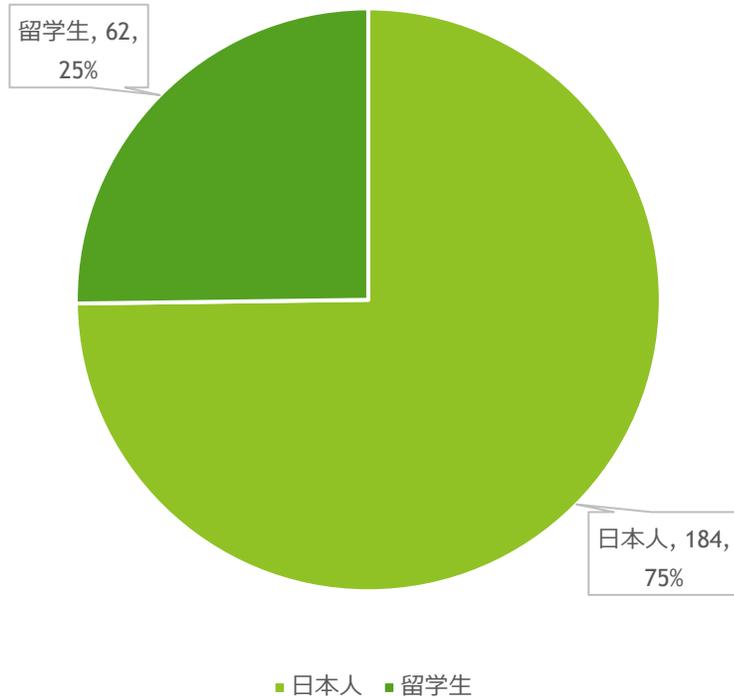
- ▶ それぞれの学年の比率は、3年生が多少大目ではあるものの、概ねバランスがとれていると思われる。

あなたの性別はどちらですか？



- ▶ 回答者の男女比は、おおよそ五対一である。学生のプライバシーに配慮して、「回答しない」という項目も設けている。

あなたの国籍について教えてください。

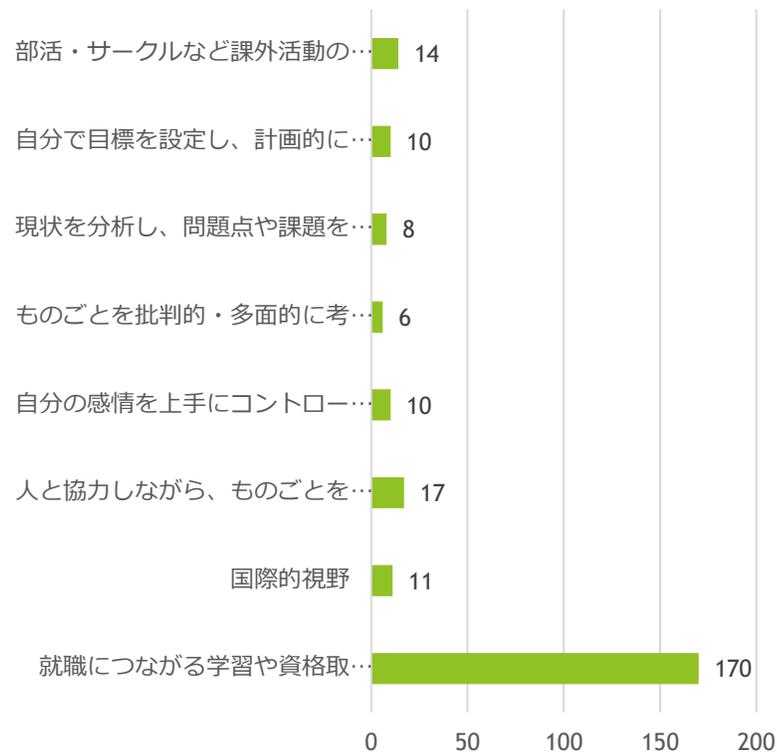


あなたの国籍について教えてください。

- ▶ 回答者の国籍は日本人が75%、留学生が25%である。昨年度は日本人が約6割、留学生が約4割であったため、今年度は留学生が少なめの回答となっている。

2-1 大学生生活に何を期待していますか？（複数回答可）

大学生生活に何を期待していますか？
（複数回答可）



- ▶ 学生に大学生生活で期待することを尋ねると、左の表のような結果となった。昨年同様、学生の興味はやはり就職に大きく傾いていることが分かる。昨年度は、卒業後の就職を念頭に、計画性を持って事に当たる力や、他人との協調を図る能力など学業以外にも人間的に成長をすることを期待している学生も見られたが、今年度は、就職一辺倒になっている。

大丈夫です。

就職する際に様々な学習しながら、簿記等の資格習得すれば就職に役立つと思います。

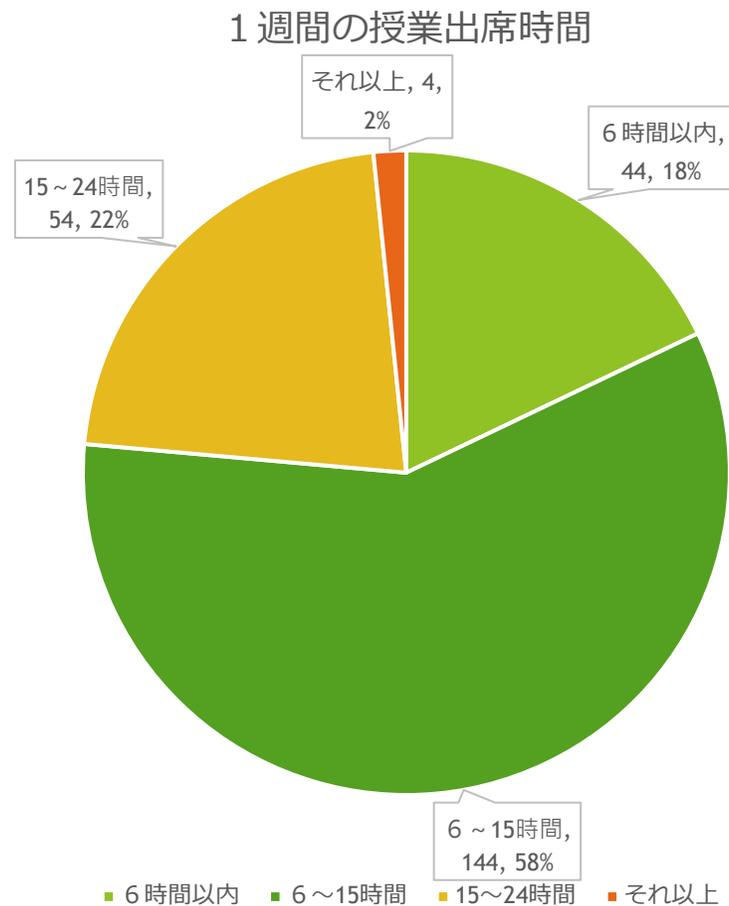
時間を作るため

学生生活に学んだことは自分の目標のために役に立つと思います。

2-1 大学生生活に何を期待していますか？（その他）

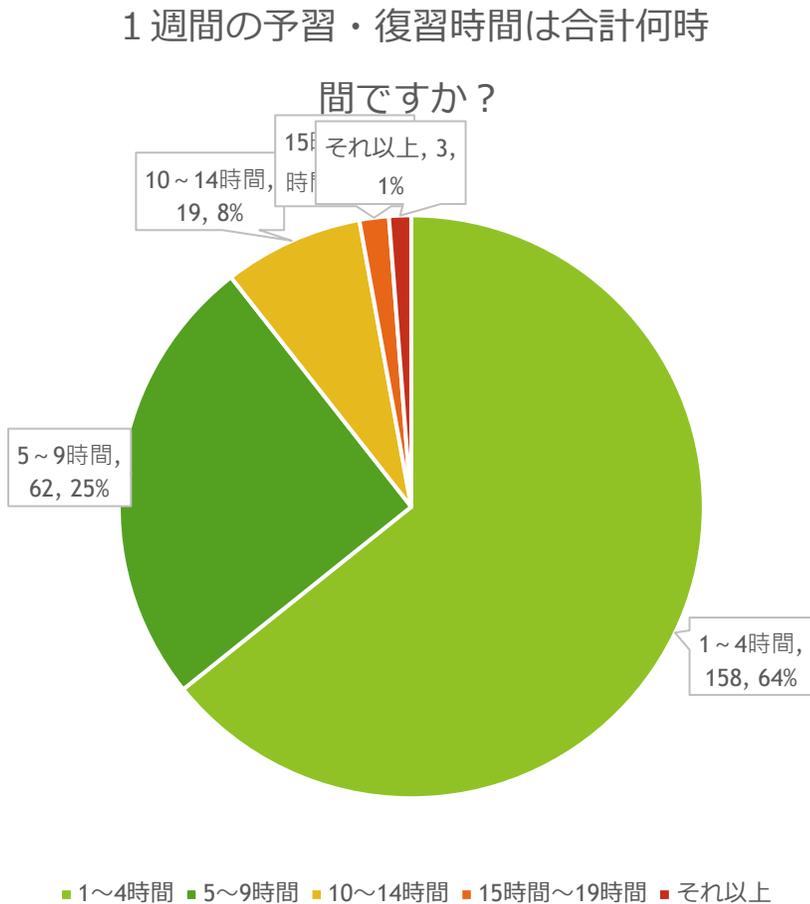
- ▶ 左は、その他の項目として、選択肢ではなく具体的に内容を書いてもらった部分の解答例である。

3-1 1週間の授業出席時間（遠隔授業時間も含む）は、合計何時間ですか？1時限を1.5時間として考えてください。



- ▶ 回答者は1年生から4年生まで、全学年に及んでいるため、週1~2時限の授業を受けている学生から、平均して毎日3時間以上授業を受けている学生まで、さまざまであるが、2%程度の学生は突出して授業に取り組んでいることが分かる。

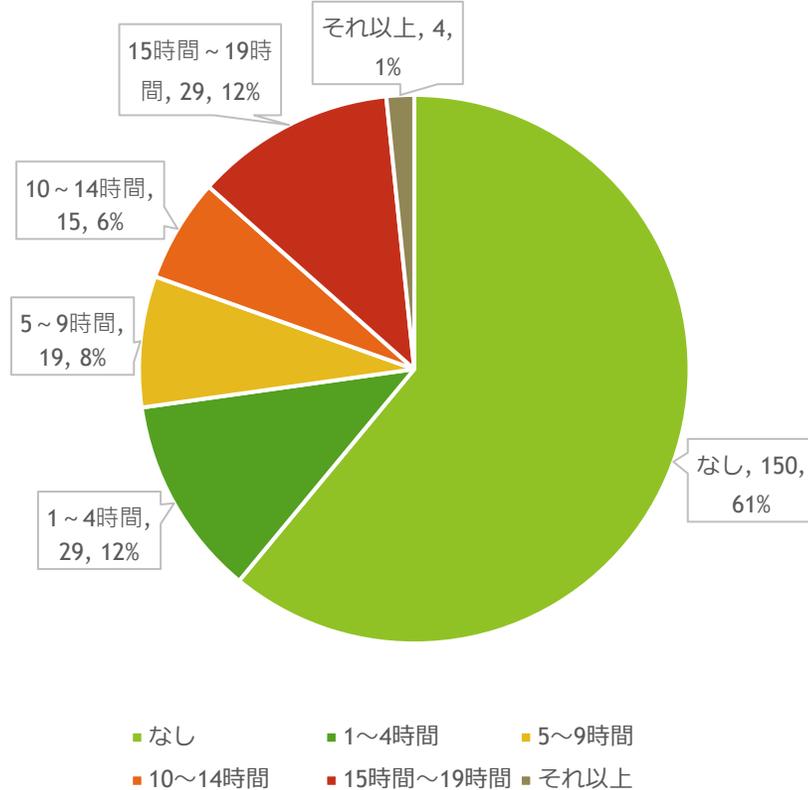
3-2 1週間の予習・復習時間（課題・レポート作成などの時間を含む）は合計何時間ですか？



- ▶ 学生の授業以外の学習時間を問うた質問である。結果を見てみると、6割以上が1～4時間程度となっており、先の授業数のデータと引き比べてみると、相当数の学生が十分な学習時間を確保できていないことがわかる。2022年のデータと比較すると、週に10時間以上学習する学生の割合が16%から11%に減少している。平均して毎日一時間程度学習する学生の割合は36%と、昨年度の40%から微減している。

3-3 1週間の部活・サークル活動時間は、合計何時間ですか？

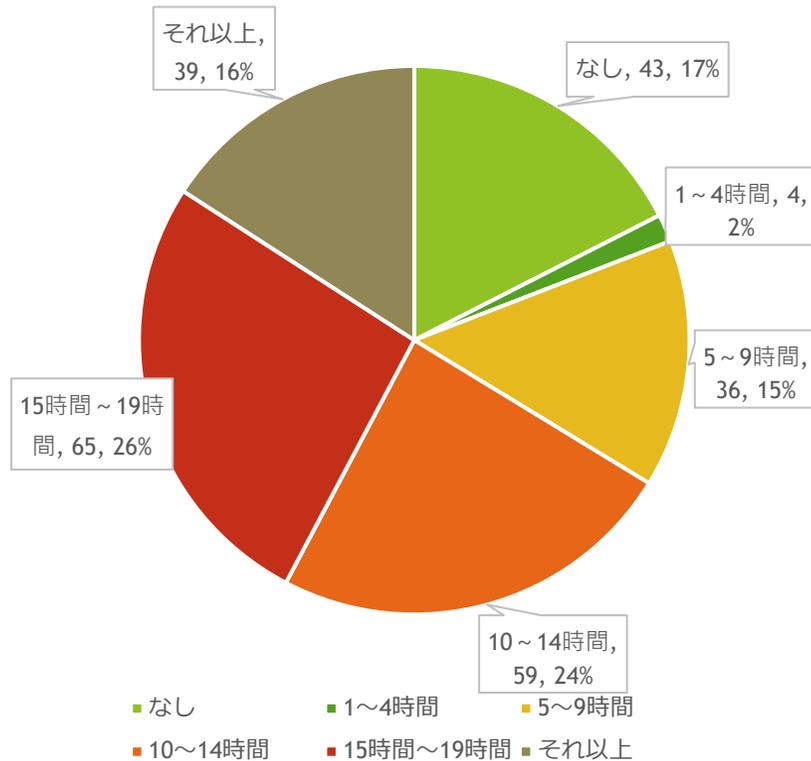
1週間の部活・サークル活動時間は、合計何時間ですか？



- ▶ 2022年度同様、今年度も4割の学生が、何らかの形で部活動を行っているようである。部活動に取り組んでいる学生の活動時間も昨年とほぼ同じで、コロナ禍で行われていた規制が解け、以前の日常を取り戻していることが見て取れる。

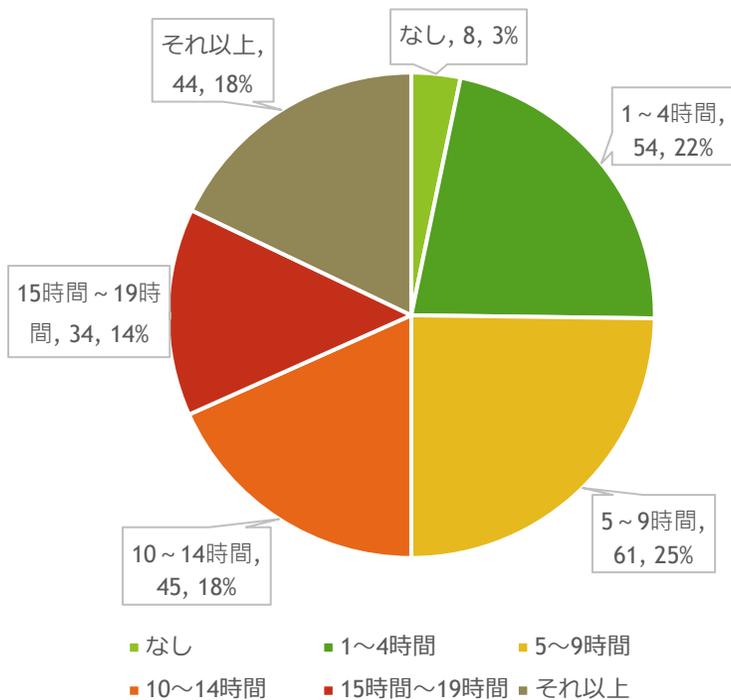
3-4 1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？

1週間のアルバイトの時間は、合計何時間ですか？



- ▶ アルバイトをしていない学生は昨年度の25%とから17%に減少している。5人中4人以上がアルバイトをしている状況である。近年の物価高がより一層学生の経済的負担を増加させているものと考えられる。表を見ると、アルバイトに費やす時間が週に20時間を超えている学生が、昨年と比較して2%増加している。

1週間のインターネットやSNS（ゲームを含む）の時間は、合計何時間ですか？

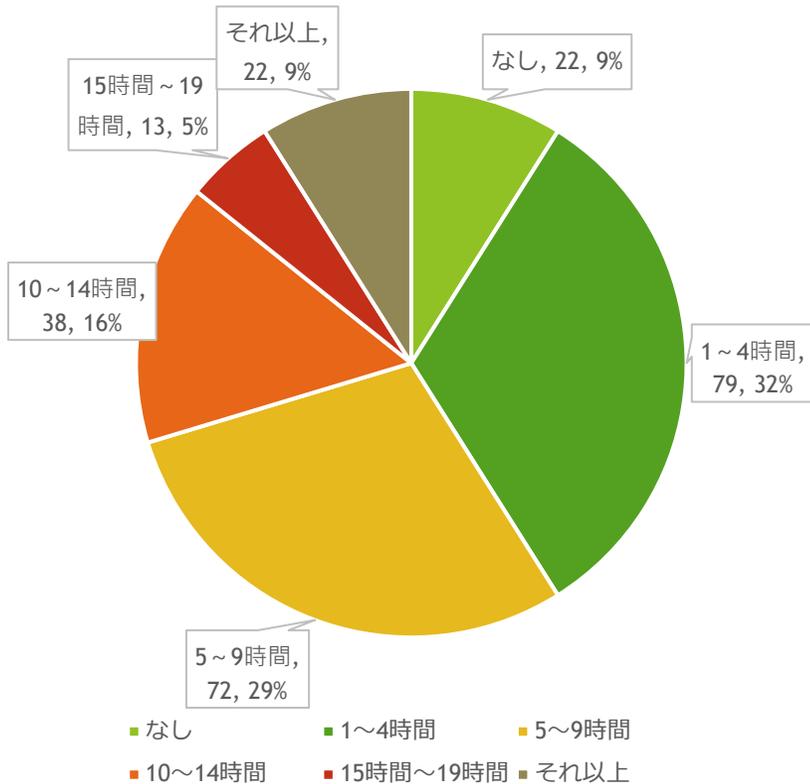


3-5 1週間のインターネットやSNS（ゲームを含む）の時間は、合計何時間ですか？

- ▶ 学生たちが、自分の生活や嗜好に応じて適宜インターネットやSNS を利用している状況であることがわかる。昨年度よりも全体的に数パーセントずつ使用時間が長くなっているが、3-2においてわかった学習時間の一層の不足が、特にネットの使用時間の伸びにつながっているわけではなさそうである。

3-6 1週間のうち 上記以外の趣味にか けた時間は、合計何 時間ですか？

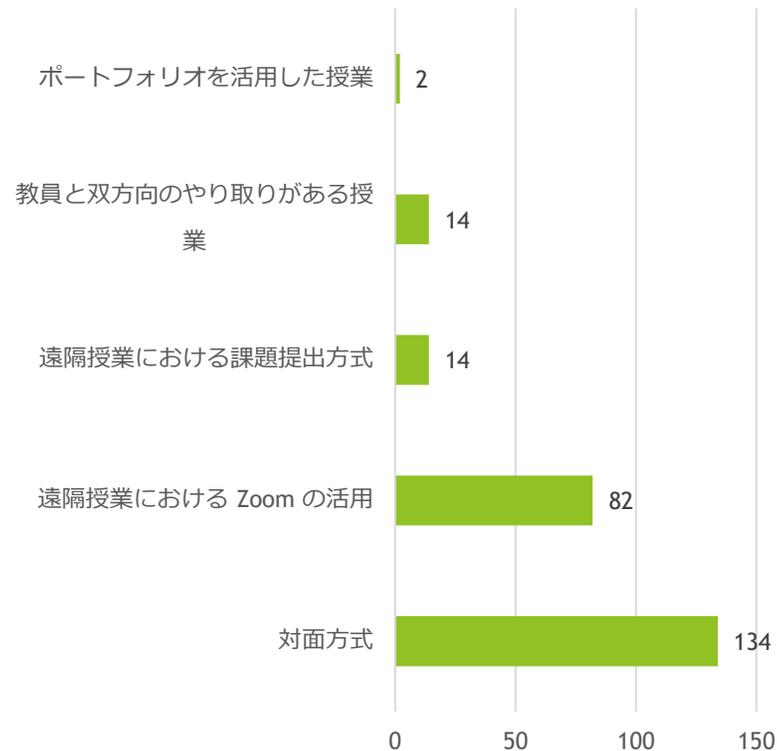
1週間のうち上記以外の趣味にか
けた時間は、合計何時間ですか？



- ▶ インターネットに関係しない趣味の分野は、「なし」と答えた学生は、昨年同様9%であるが、週に4時間以内とする学生は昨年から2%、5~9時間が5%それぞれ減少している。一方で、10~14時間と回答する学生が4%、15~19時間が2%、そして20時間以上が1%、それぞれ増加し、学生が趣味にかける時間は全体的にますます大きく伸びている。学生がネット以外の分野での趣味を楽しめる環境が戻ってきていることが表から読み取れる。

4-1 魅力を感じる授業方法はどのような授業方法はどのようなものですか？（複数回答可）

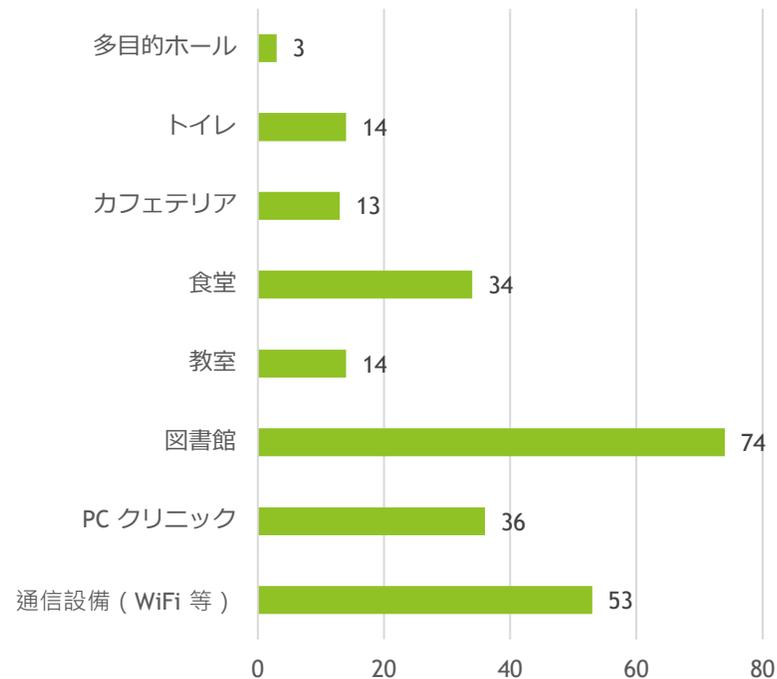
魅力を感じる授業方法はどのようなものですか？（複数回答可）



- ▶ 学生が魅力を感じる授業として、2年前はZoom授業が突出し、課題提出方式もある程度の支持を集めていた。昨年度からは原則的に対面授業が基本であるため、対面方式が学生にとって、最もなじみがあるようである。双方向の授業に魅力を感じる学生は昨年の41人よりも激減していることから、自らが進んで調べ発表するタイプの授業ではなく、講義を傾聴するタイプの対面方式を好む傾向がますます進んでいることがわかる。

5-1 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（複数回答可）

大学の施設・設備についてあなたが満足しているものどれですか？（複数回答可）



- ▶ 大学の施設・設備に関しては、例年通り図書館に対する満足度が高い。通信設備がそれに続いている。カフェテリア、PCクリニックや食堂も学生の満足を一定数勝ち得ているようである。
- ▶ 食堂については、昨年に引き続き、学生部による補助活動の一環としての食券の割引による成果が今年度も出ていると思われる。
- ▶ 多目的ホールに関しては、昨年同様学生の満足度が低いことがわかるが、教室に対する満足度が昨年度に比べてかなり落ち込んでいるのが気になるところではある。

福岡工業大学と比べて設備が全体的に乏しい

卓球台

体育館やウエイト場の設備はとても充実していると感じています

図書館です。

事務の対応

私は図書館員について満足していますなぜ言うと図書館でパソコン、インターネットなどがありますので満足しています。

バス

とくになにも

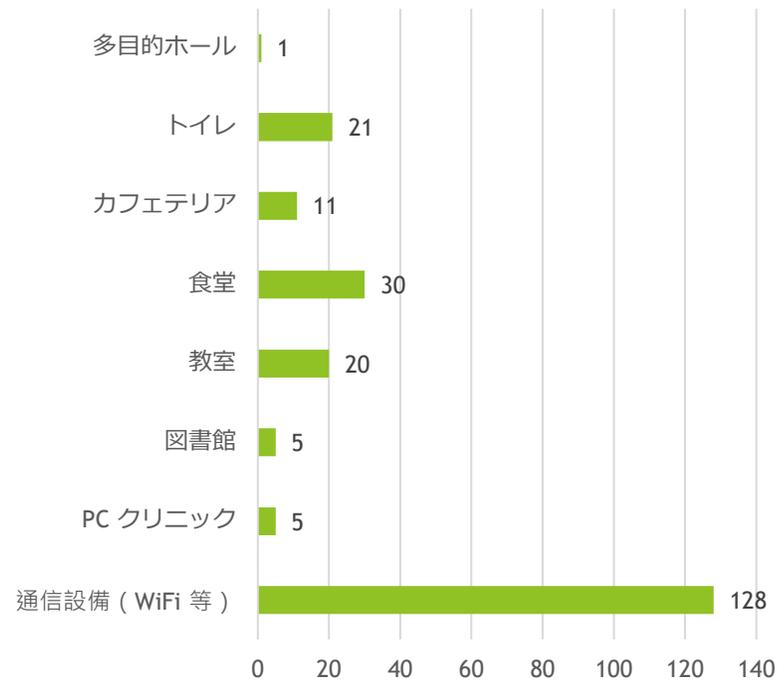
pcクリニックにとってなんか問題があった場合にすぐ解決していただきますからです。

5-2 大学の施設・設備についてあなたが満足しているものはどれですか？（その他）

- ▶ 左は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

5-3 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（複数回答可）

大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（複数回答可）



- ▶ 大学の施設・設備について、学生が不満を感じているのは、特に通信設備であるという結果となった。5-1の質問との整合性を考えると、図書館やPCクリニックを感じる学生の満足感に特に矛盾はなさそうであるが、食堂や教室、トイレなどは、満足を感じている学生と同じくらい、不満を感じている学生がいることがわかる。多目的ホールに関しては、満足、不満ともに低い数字であるので、やはり学生の関心が余り高くないことが考えられる。

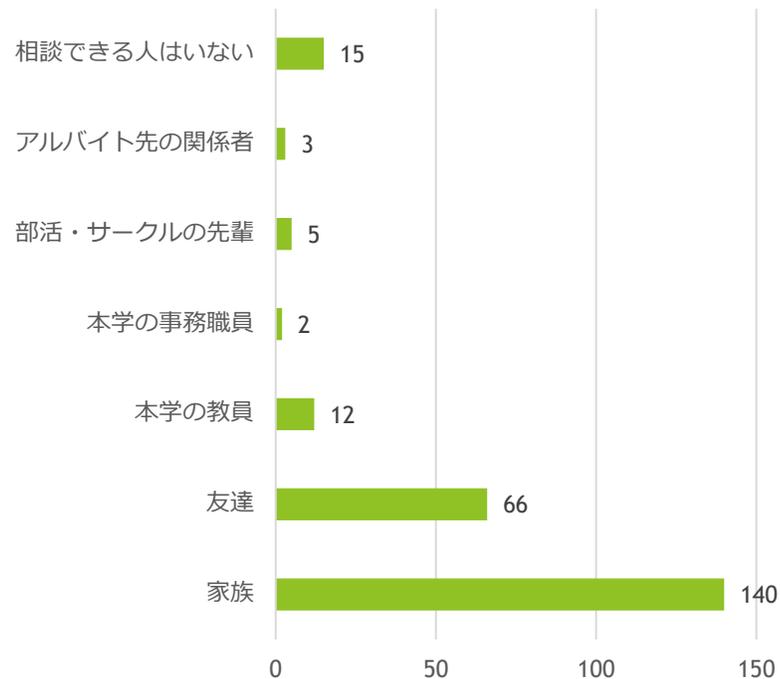
5-4 大学の施設・設備についてあなたが満足できないものどれですか？（その他）

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

陸上競技場の劣化
ウエイトトレーニング場の空調管理
陸上トラックがボロボロ
昼休みも空き教室でご飯が食べられるようにしてほしい。また、女子トイレに音姫をつけてほしい。
体育館の温度管理
体育館
他の大学に訪れたことがないから評価できない
西鉄バスで太宰府駅まで来てるが丁度良い時間にスクールバスが来てないので遅刻する。帰日もスクールバスで太宰府駅に到着後もう西鉄バスは出発している。これもまた不満。
清潔感がない。トイレ内でカバンを置くところやかけるところがない
図書館です。
最近のスクールバス 太宰府天満宮付近の交通情報に起因するため仕方ないと感じている。
空調設備が整っていない タータンがボロボロ
なぜかいうと今まで大学の中で使ったものは役に立っているからです。
トレーニングするスペースが狭いためストレスを感じるから
タータンが古いのと体育館の空調設備
タータンがボロボロになってきているので貼り替えをしてほしい。
タータンがボロボロになっていること、体育館の空調設備をつけて欲しい
グラウンドの劣化、タータン張り変えて欲しい、ウエイト場の空調設備
グラウンドのタータンがボロボロで練習できない
ウエイト場の空調がなくて夏は暑くて冬は寒くて練習どころではない
ウエイト場の空調設備
陸上競技場のタータン
Wi-Fiが遅いです。
Wi-Fiがパソコンにつながっているので学内どこでもパソコン利用することができます。
androidのwifi設定の際にできなくてpcクリニックに行ったが解決出来なかったので恐らく大学の設備に問題があるのではないかと思う

悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？

(複数回答可)



6-1 悩み事や不安なこと、将来のことなどを気軽に話せる人は誰ですか？（複数回答可）

- ▶ 相談できる相手として友達や家族、特に家族が圧倒的に多い。これはある意味当然の結果と考えられるが、教員や事務職員を選んでいる学生も、わずかながら散見される。気になるのは「相談できる人がいない」と答えた学生の存在であるが、昨年の21人より減少し、今年度は15人であった。減少傾向にあるとはいえ、一定数の学生が悩みを一人で抱え込んでいることになる。孤独感の中で光明を見失うことのないように、学生の相談室の存在を周知し、学生が相談しやすい環境を更に整える必要が今後もあると思われる。

自分自身

自分の将来について
家族と話せばいろ
いろな大変なこと
に家族から手伝い
やサポートなどが
もらいます。

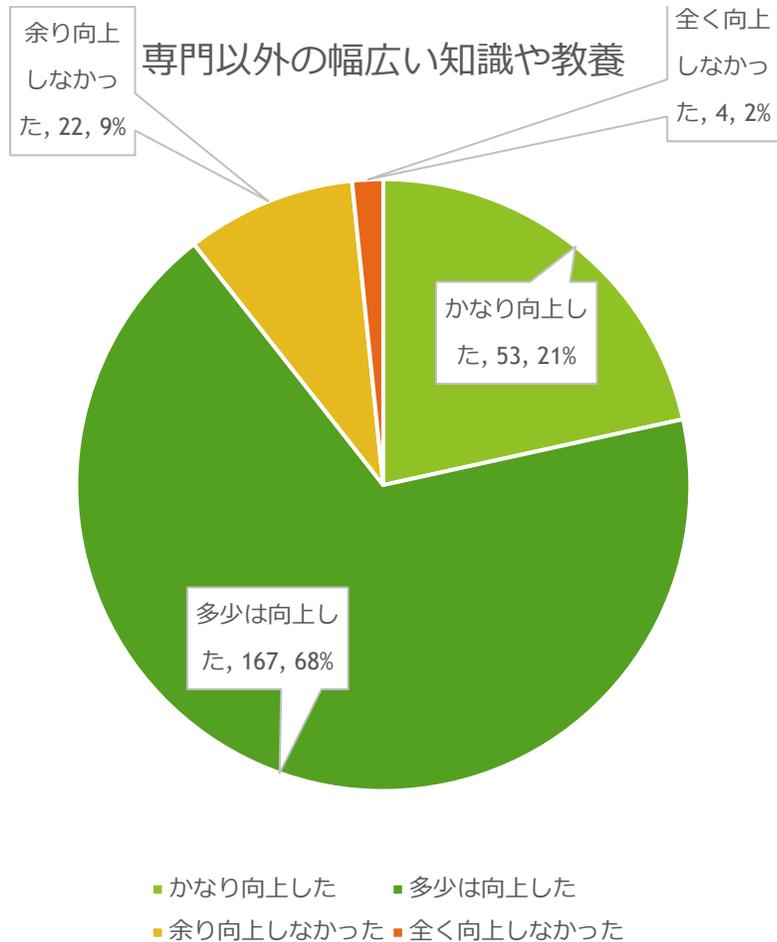
家族

コミュニティ

6-2 悩み事や不安な こと、将来のことなど を気軽に話せる人は誰 ですか？（その他）

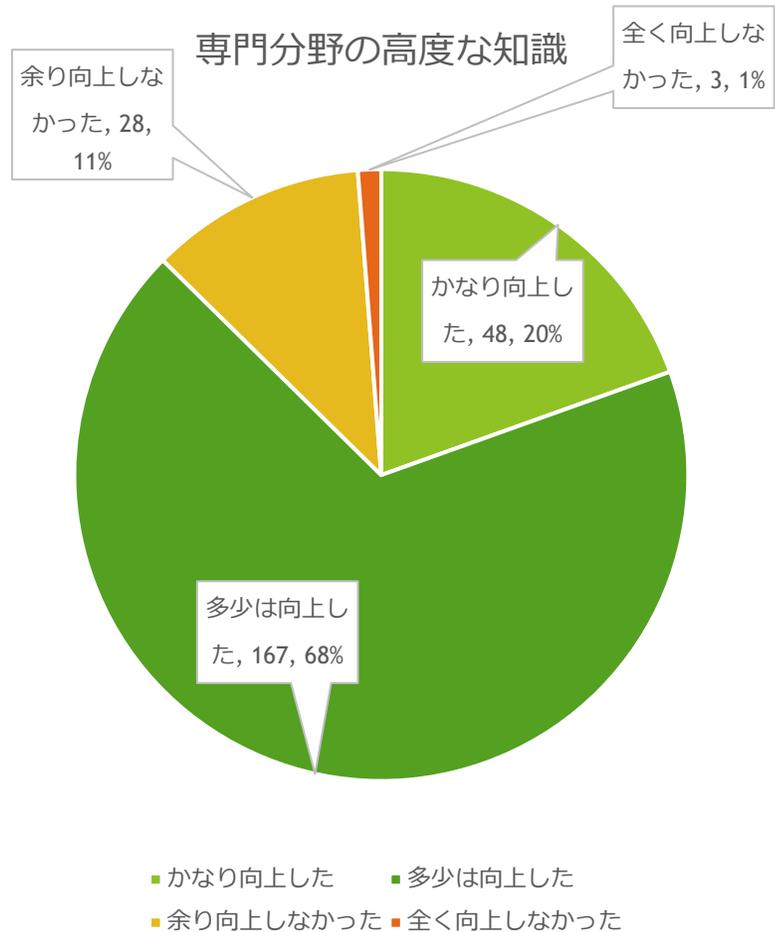
- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

7-1 専門以外の幅広い知識や教養



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門以外の幅広い知識や教養については、21%（昨年は22%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、昨年同様、89%の学生が向上したと答えている。9割近くの学生が継続的に自己の成長を感じてくれているのは喜ばしいことだといえよう。

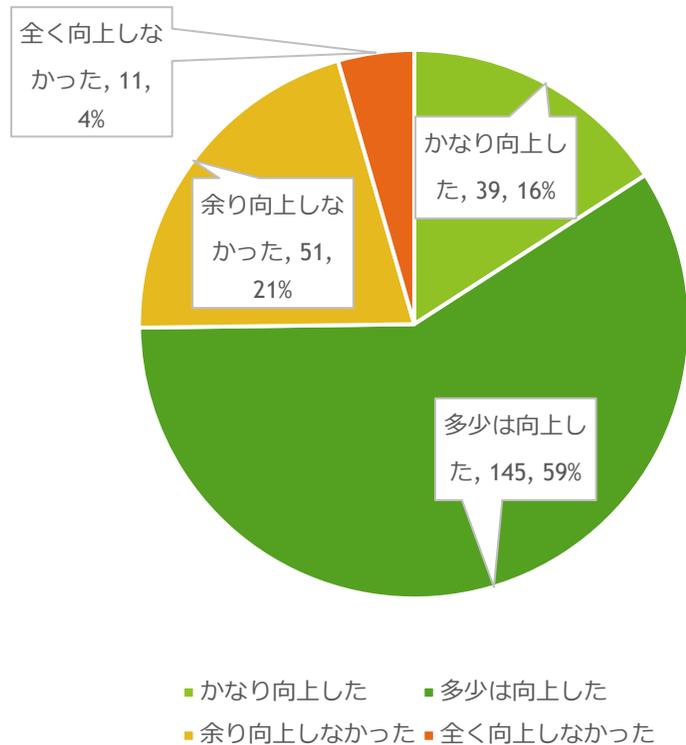
7-2 専門分野の高度な知識



- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。専門分野の高度な知識については、20%（昨年は25%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、昨年と同じく、88%の学生が向上したと答えている。4年続けて専門分野の高度な知識を獲得できたと考える学生の数が増加している。コロナが終息を迎え、大学教育も以前の姿に戻っていることから、学業に手ごたえを感じる学生が増えているのではないだろうか。

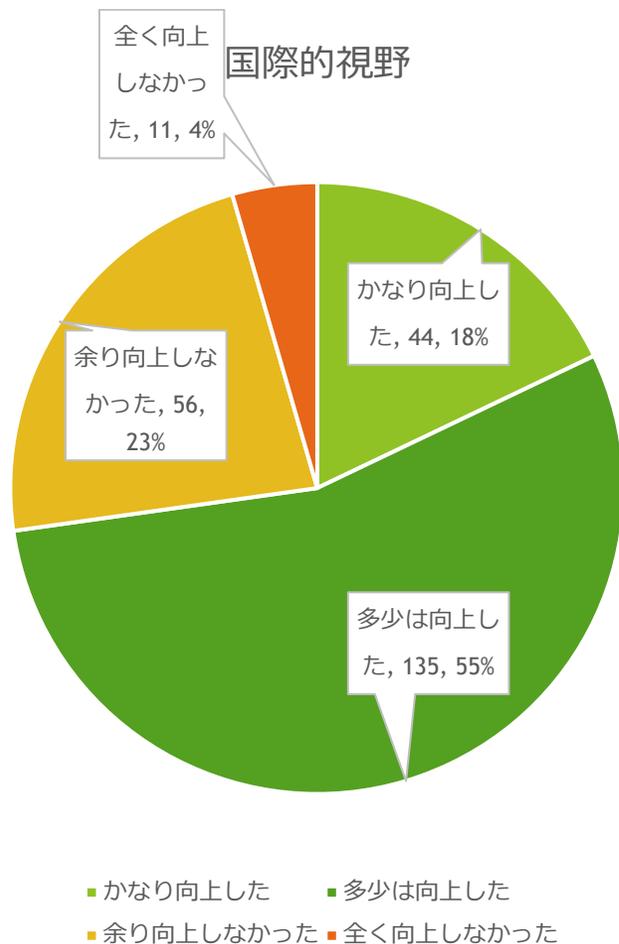
7-3 就職につながる学習や資格取得、活動の成果

就職につながる学習や資格取得、活動の成果



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。就職につながる学習や資格取得、活動の成果については、16%（昨年は19%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、75%（昨年は71%）の学生が向上したと答えている。向上したと考える学生が増加していることは望ましい。CDC等学校側の努力が実を結んでいるようである。

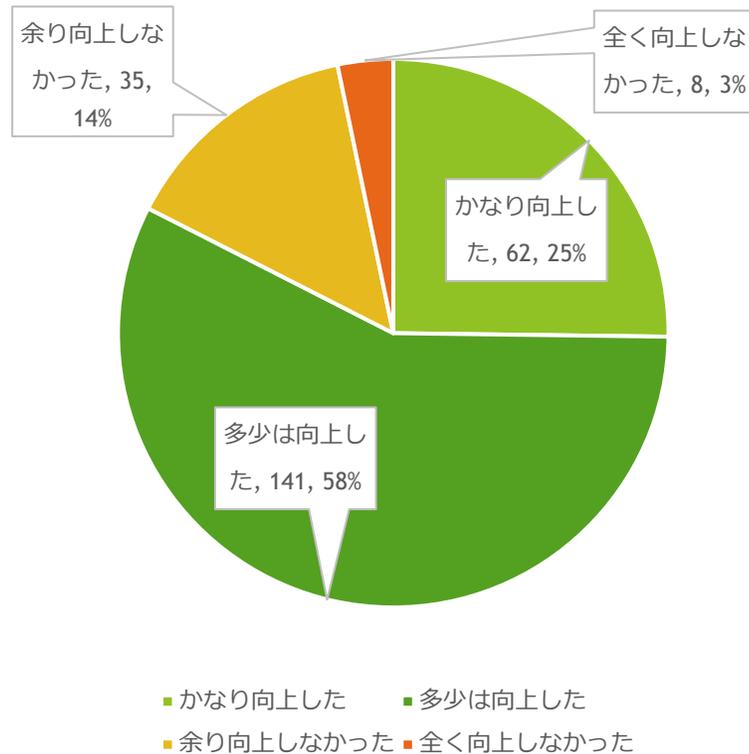
7-4 国際的視野



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。国際的視野については、18%（昨年は21%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、73%（昨年は74%）の学生が向上したと答えている。対面授業が普通に行われ、学校で留学生等と触れ合う機会も増えてきており、コロナの時代より数値がかなり改善している。

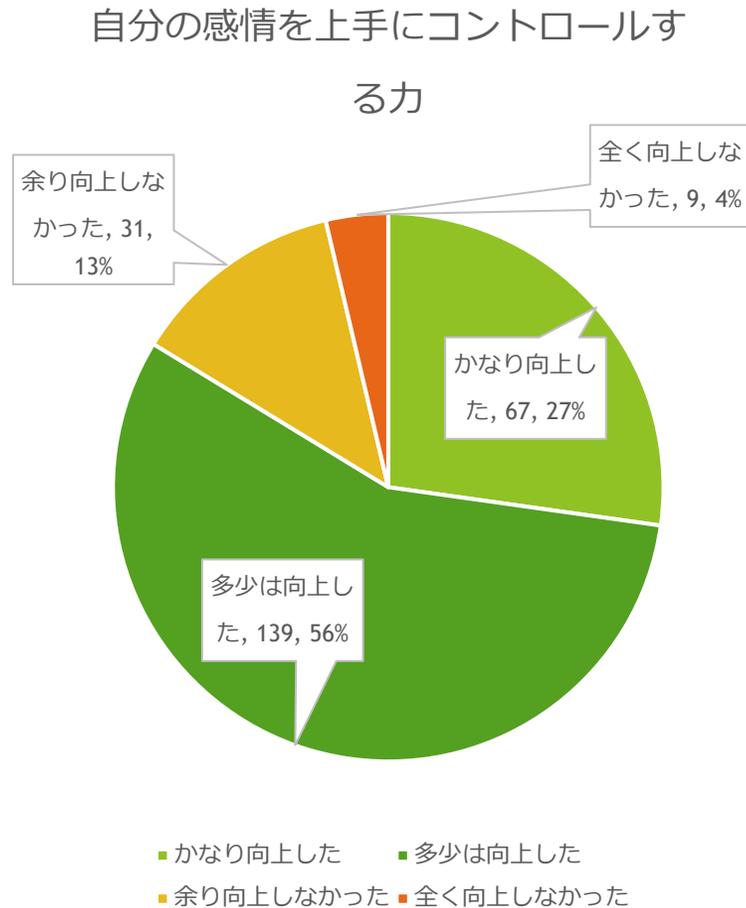
7-5 人と協力しながらものごとを進める力

人と協力しながらものごとを進める
力



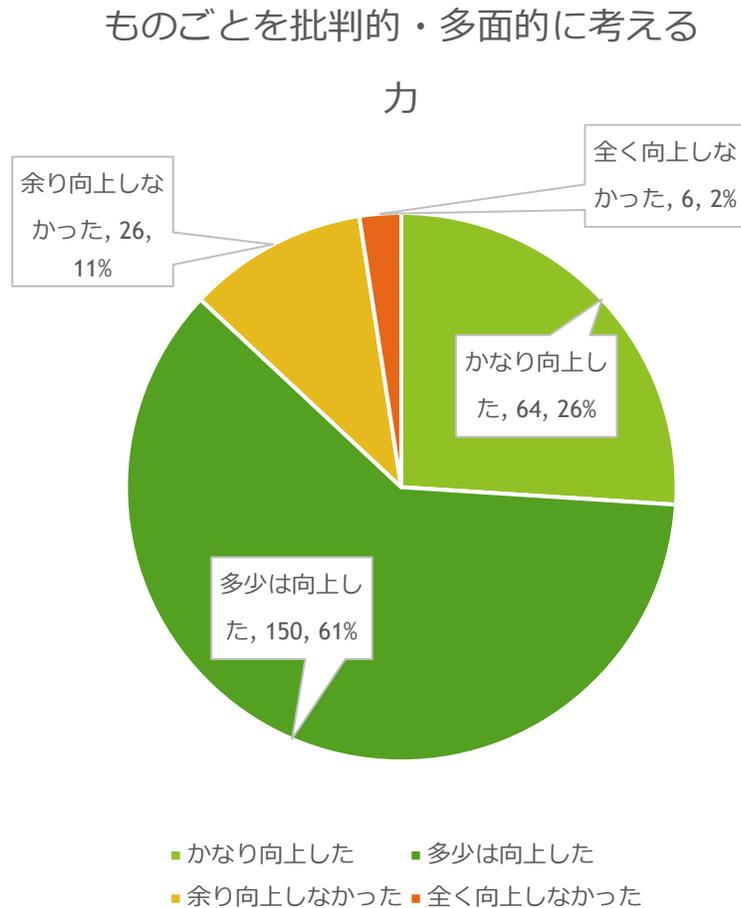
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。人と協力しながらものごとを進める力については、25%（昨年は29%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、83%（昨年は86%）の学生が向上したと答えている。自宅から外へ出て学校で授業を受けることで、他人と関わる場が増えたことにより、昨年は2年前に比べてかなり伸びていたのだが、今年度は少し減少している。

7-6 自分の感情を上手にコントロールする力



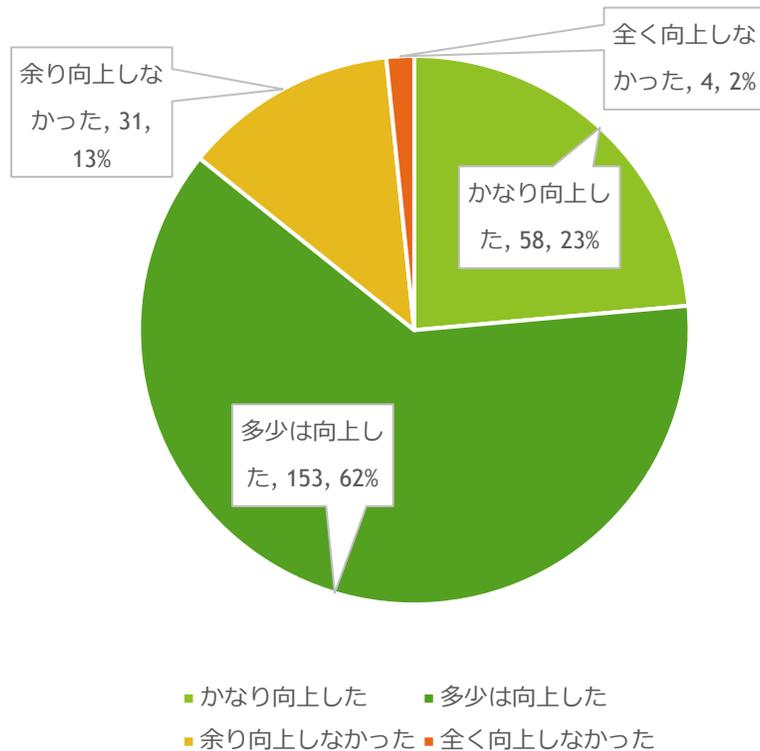
- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。自分の感情を上手にコントロールする力については、27%（去年は29%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、83%（去年は86%）の学生が向上したと答えている。昨年度よりは減少しているものの、好ましい増加傾向がみられる。

7-7 ものごとを内省的・多面的に考える力



- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。ものごとを内省的・多面的に考える力については、26%（昨年24%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、87%（昨年86%）の学生が向上したと答えている。

現状を分析し、問題点や課題を発見
する力

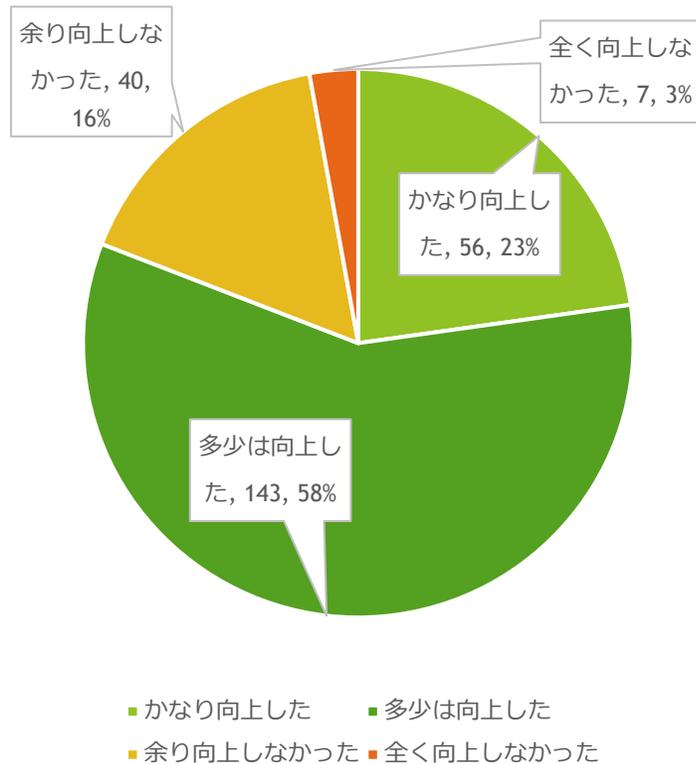


7-8 現状を分析し、 問題点や課題を発見 する力

- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、問題点や課題を発見する力については、昨年同様23%の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、85%（昨年は86%）の学生が向上したと答えている。

7-9 自分で目標を設定し、計画的に行動する力

自分で目標を設定し、計画的に行動する力

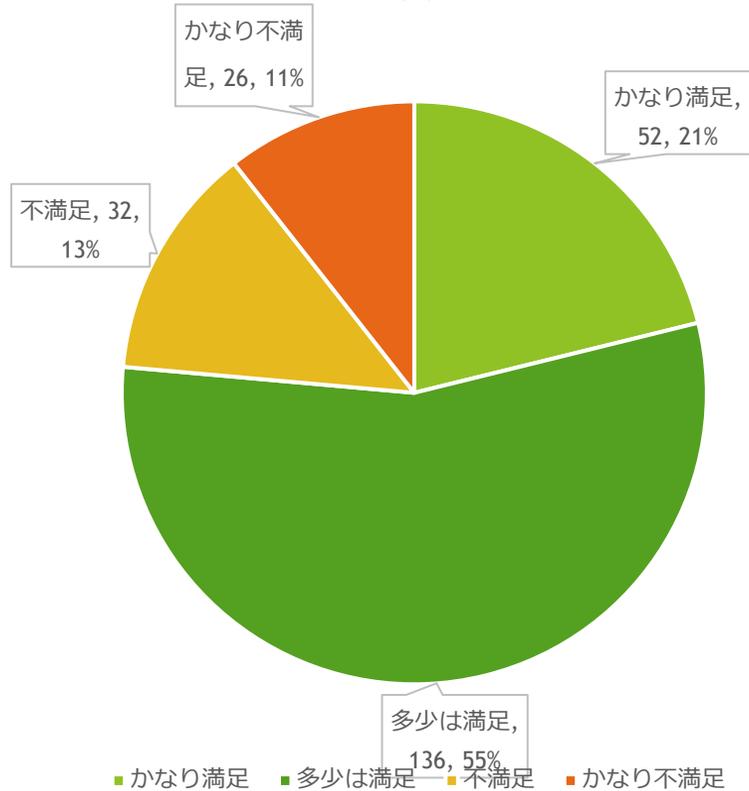


- ▶ 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。現状を分析し、自分で目標を設定し、計画的に行動する力については、23%（昨年は26%）の学生が「かなり向上した」と考えており、「多少は向上した」と考える学生と併せると、昨年同様81%の学生が向上したと答えている。

7-10 部活・サークルなど課外活動の充実度

部活・サークルなど課外活動の充実

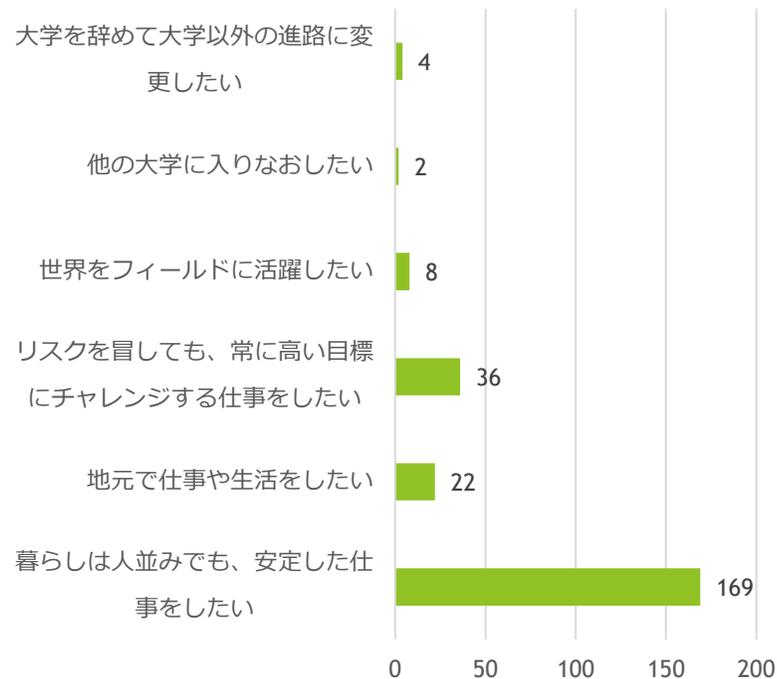
度



- 7の質問項目は、学生の大学への期待に対する成果について質問したものである。部活・サークル、学友会活動など課外活動の充実度については、76%の学生が「かなり満足」または「多少は満足」と考えている。昨年の81%に比べて減少しているが、昨年は、久しぶりにコロナ禍から解放され、課外活動が数年ブルに解禁されたことが、学生の意識に大きな影響を与えていたようである。3-3の質問項目で、61%の学生が部活動やサークルには所属していなかったが、ここ数年、新しいサークルが次々に生まれている状況を考えると学生の課外活動の充実へ向けてより望ましい方向へ進んでいると思われる。現在は入学直後の合宿でサークルの宣伝活動を行っているが、もっと新入生にアピールする機会を増やしても良いのかもしれない。

8-1 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）

あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（複数回答可）



- ▶ 8-1の質問は学生の将来の希望について問うたものであるが、例年通り多くの学生が安定志向であることが分かる。しかしながら、リスクを取っても高い目標にチャレンジしたいと考える学生や世界をフィールドに活躍したいと考える学生が、例年一定数存在することも注目に値する。

8-2 あなたの将来の希望について、どれが当てはまりますか？（その他）

大学院に挑戦したいと思うが明らかに実力不足でかつそのような環境が整っていない、就職活動に対しては選択肢が限られており意欲がわからない

生きるのが辛いから。

世界のこと知りたいので。

今まで以上にリアルを大切にしたいため

経営に専念

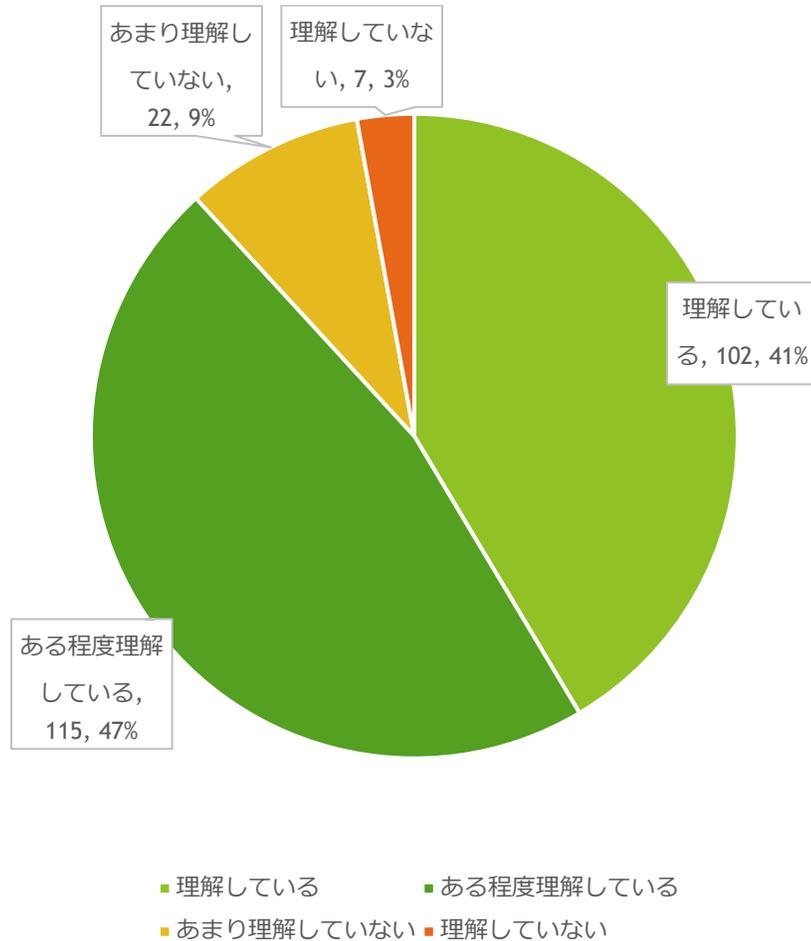
企業

しっかり稼ぐ。その分努力。

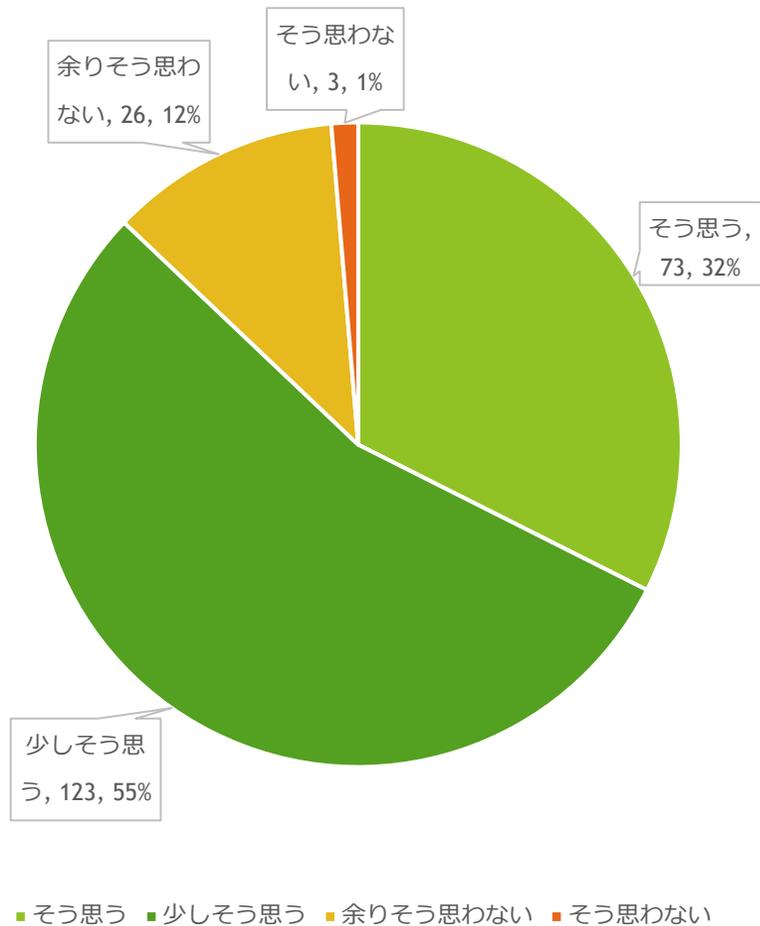
アスリートとして活動しながら仕事をできるようになりたいと考えています

- ▶ 左の表は、上記の質問に対して、その他と回答した学生に、その具体的な内容を答えてもらった結果である。

9-1 本学の「建学の精神」である「至心」「報恩感謝・自愛と奉仕」「容（かたち）は心を呼び、心は容（かたち）を呼ぶ」を理解していますか？



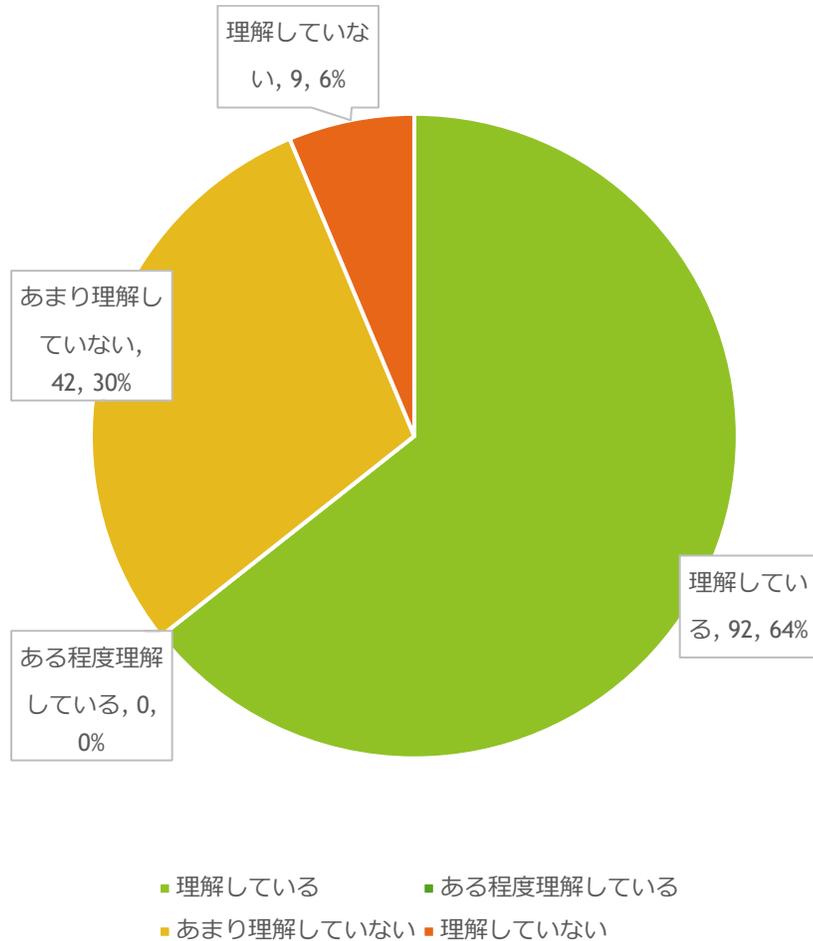
- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に関する質問である。授業等で建学の精神に触れることも多いためか、「理解している」学生は全体の41%（昨年は47%）を占め、「ある程度理解している」学生を加えると、全体の88%（昨年は89%）の学生が理解しているという結果となった。「理解している」学生は2年続けて9割近くを占めており、教育の成果が出ているものと考えられる。



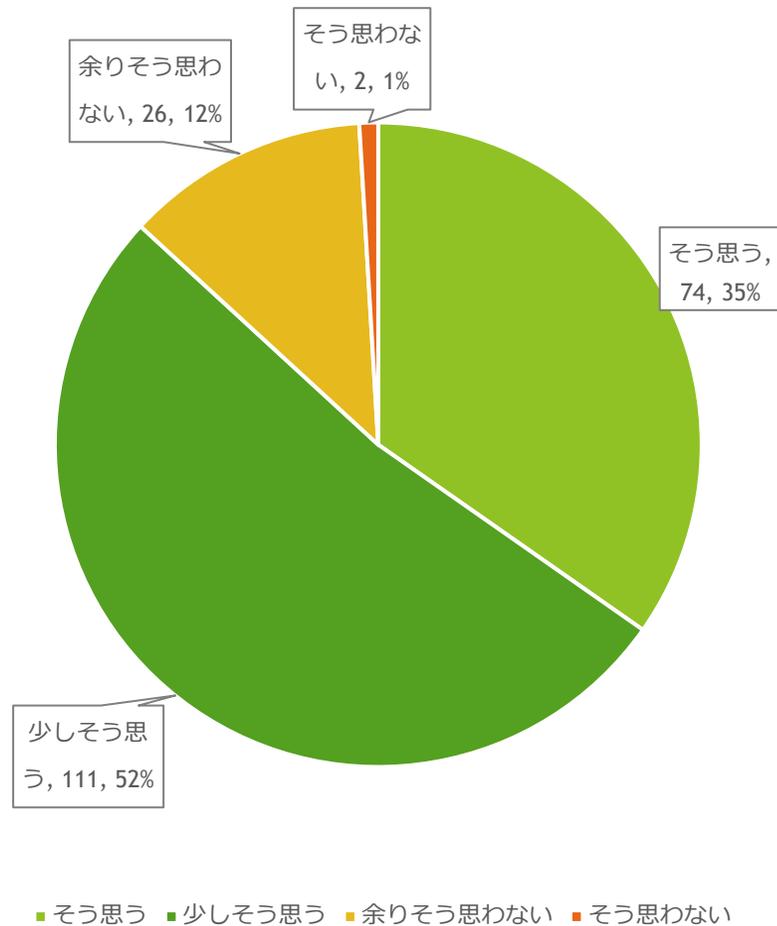
9-2 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) あなたは「建学の精神」を意識して実行できていると思いますか？

- ▶ 本学の「建学の精神」の理解に基づいて、日ごろの生活にその精神が生かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の32%（去年は43%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の87%（去年は90%）の学生が、建学の精神を理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。「そう思う」学生が11%も減少しているのは何故なのか気になるところではある。

9-3 本学の入試要項に記載されている「アドミッションポリシー」（入学者の受け入れ方針）を理解していますか？



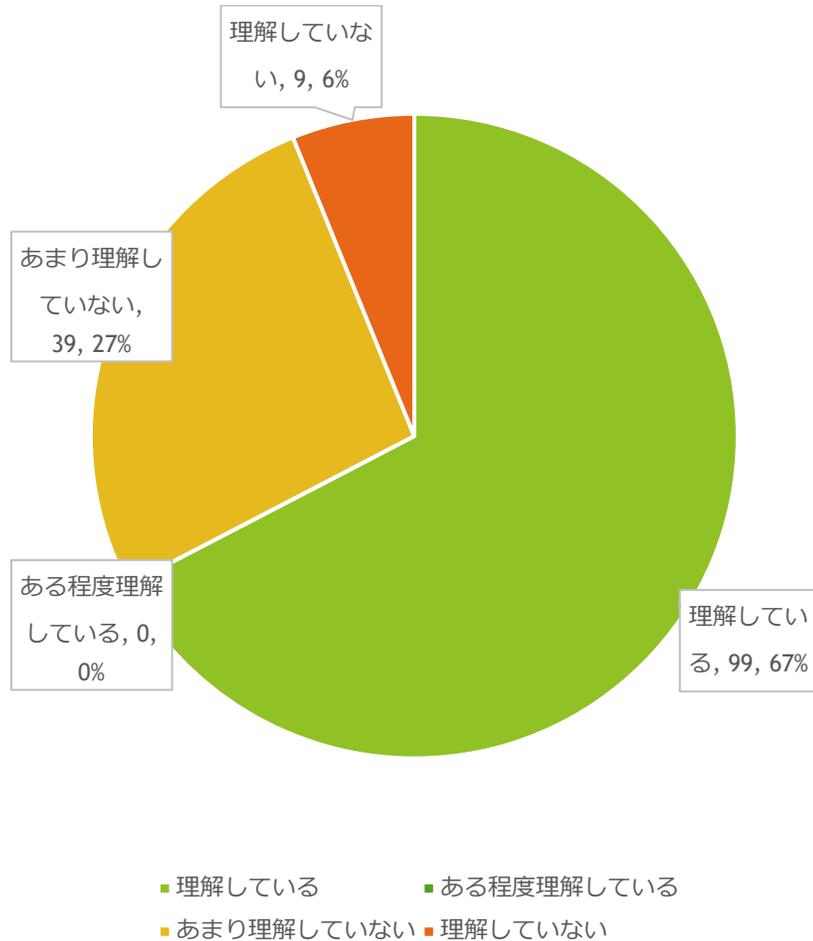
▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の64%（昨年は39%）を占め、非常に大きく増加している。しかしながら、昨年の場合「ある程度し理解している」学生を加えると、全体の82%（昨年は80%）の学生が理解しているという結果となっていたのに、今年度は「ある程度し理解している」学生が0であるため、加えても64%のみである。反対にあまり理解していない、または理解していない学生が昨年の18%から36%の倍増してしまっている。入試要項などをあまり気にせず入学したものであろうか。



9-4 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 入学後に、あなたは「アドミッションポリシー」を意識して実行できていると思いますか？

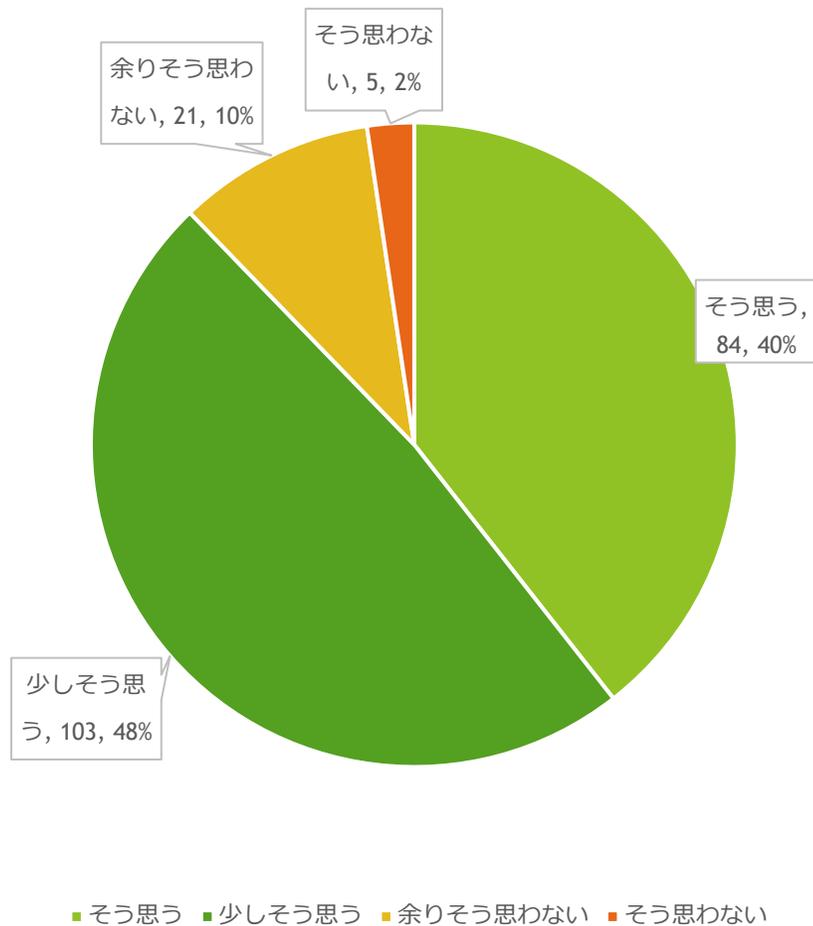
- ▶ 本学の「アドミッションポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の35% (去年は38%) を占め、「少しそう思う」学生を加えると、昨年と同じ全体の87%の学生が、本学のアドミッションポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

9-5 本学の学生便覧に記載されている「ディプロマポリシー」（卒業認定・学位授与の方針）を理解していますか？



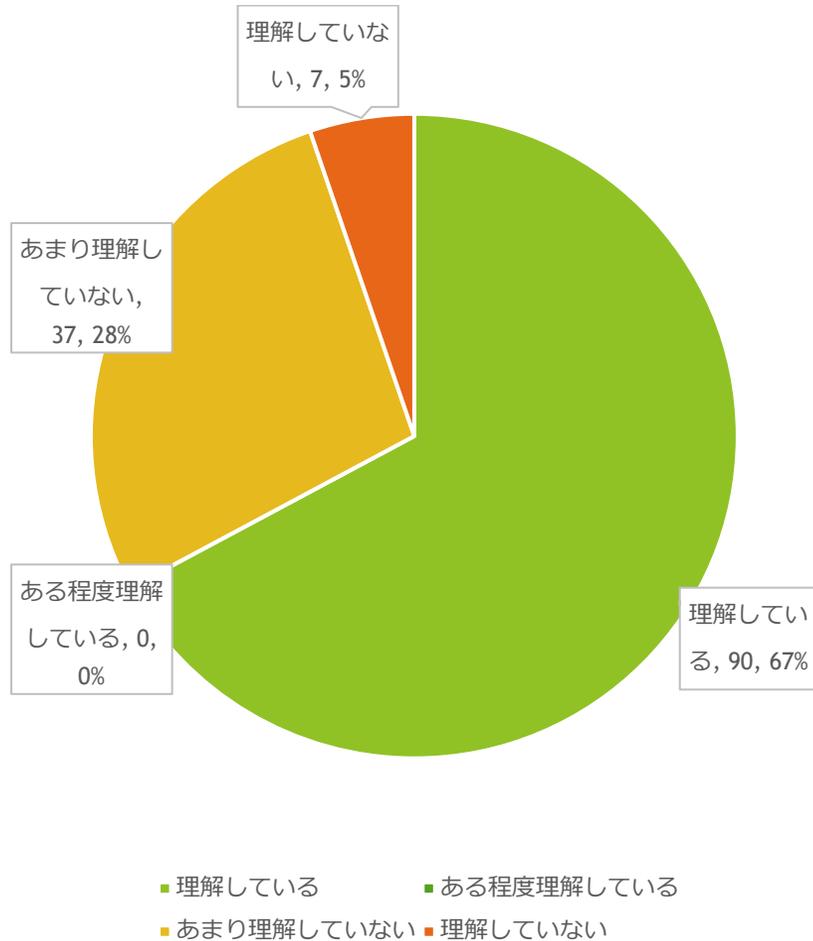
- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の67%（昨年は45%）を占めているが、「ある程度理解している」学生が0なので、全体の67%（昨年は81%）の学生が理解しているという結果となった。アドミッションポリシーに引き続き、学生の理解度は昨年よりも下がってしまっている。

9-6 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 入学後に、あなたは「ディプロマポリシー」を意識して、卒業認定・学位授与に向けて努力できていると思いますか？



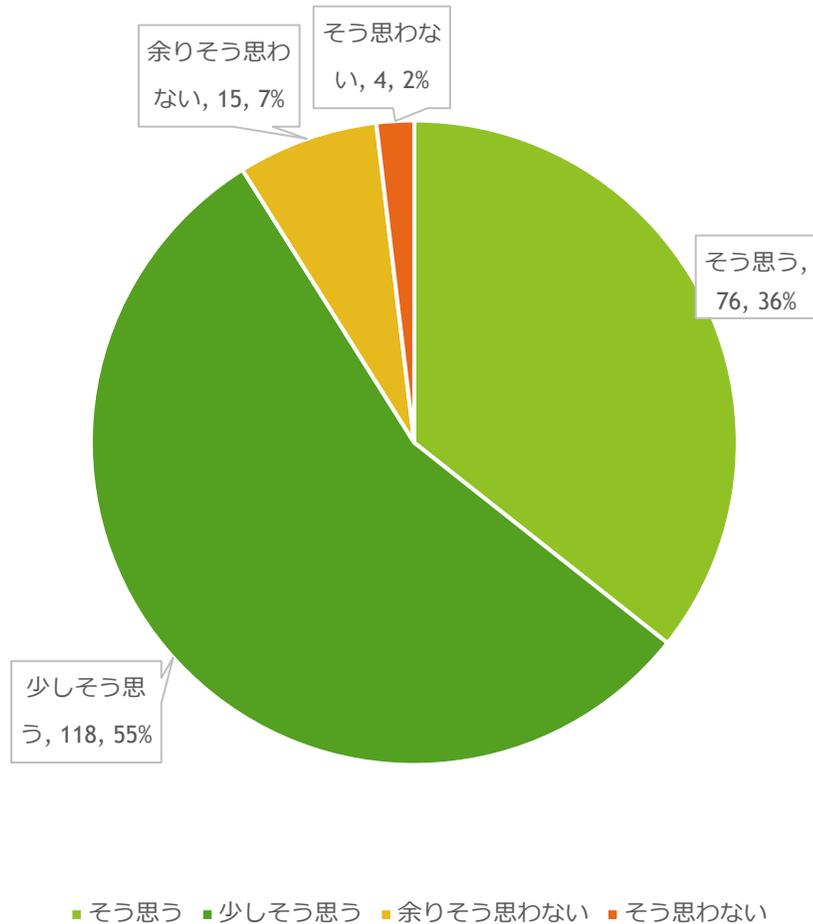
- ▶ 本学の「ディプロマポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の40%（昨年は46%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の88%（昨年は90%）の学生が、本学のディプロマポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

9-7 本学の学生便覧に記載されている「カリキュラムポリシー」（教育課程編成・実施の方針）を理解していますか？



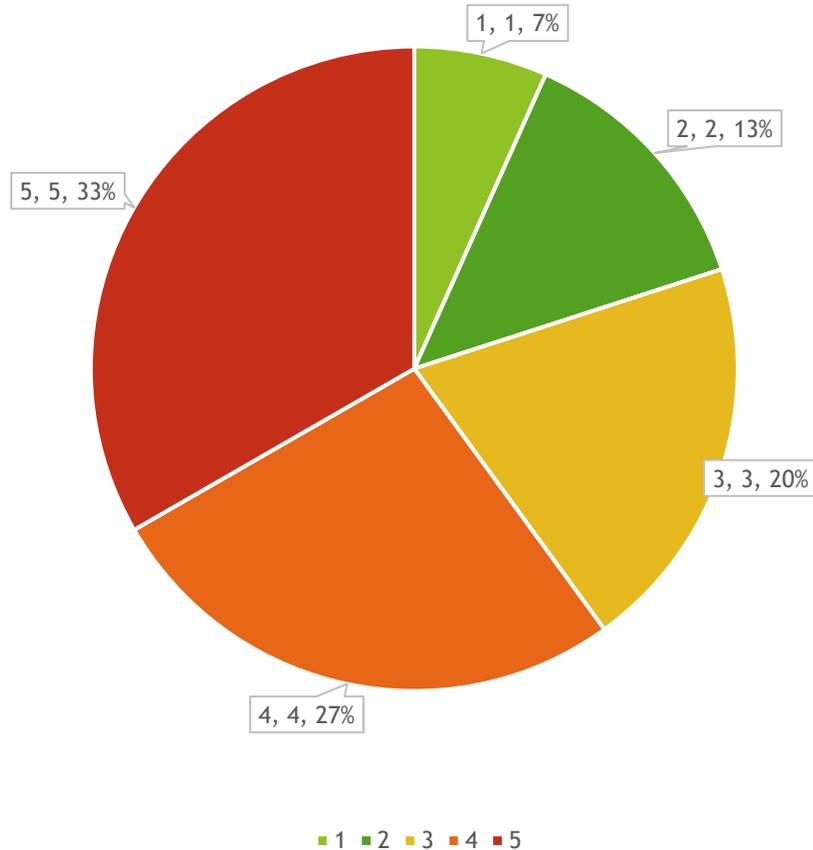
- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に関する質問である。「理解している」学生は全体の67%（去年は40%）を占めているが、「ある程度理解している」学生が0なので、結局全体の67%（去年は79%）の学生しか理解していないという結果となった。どういわけか、三つのポリシーの理解度が三つとも昨年より下がってしまっている。初年時教育等で知識を補う必要があるかもしれない。

9-8 (上の質問で、「理解している」「ある程度理解している」と回答した方へ) 本学は、基礎から応用までを体系的に学べるカリキュラムと授業が実行されていると思いますか？



- ▶ 本学の「カリキュラムポリシー」の理解に基づいて、日ごろの生活にその内容が活かされているかを問う質問であるが、「そう思う」学生は全体の36%（昨年は44%）を占め、「少しそう思う」学生を加えると、全体の91%（昨年は90%）の学生が、本学のカリキュラムポリシーを理解した上で自分の生活に活かすことが出来ているという結果となった。

10-1 この大学における教育全体について、あなたの評価は5段階のうちいくつですか？



- ▶ 本学の教育への総合的な評価を問う質問である。5が33%（昨年は18%）、4が27%（昨年は39%）であり、60%の学生が高得点を付けている。昨年は4が最も多い結果となったが、今年度は、5の評価が最も多い結果となった。全体として学生の評価が更に良い方向へ向かっている。今後も学生の学習環境を改善するなど、大学が充実した学生生活を送る手助けを積み重ねることによって、本学に在籍し卒業していく学生たちのより大きな満足感に寄与できるよう努めたい。

10-2 もしあれば、
この大学について不満
を感じている点につい
て書いてください。

文字の長さがそれぞれ異なる回答が50件
寄せられていて、1ページにまとめきれ
ないため、割愛する。

10-3 もしあれば、
この大学に入学して良
かったと思う点につい
て書いてください。

- ▶ 文字の長さがそれぞれ異なる回答が56件寄せられていて、1ページにまとめきれないため、割愛する。